

令和6年度事業報告

事業概要

当協会は、手足の不自由な子どもたちの豊かな生活を実現するため、公益目的事業として肢体不自由児の支援事業と肢体不自由児理解促進事業を行った。

支援事業としては、自立活動支援事業、地域活動支援事業、器具貸与事業により肢体不自由児の自立と社会参加を促す支援を行った。肢体不自由児理解促進事業では募金事業、ボランティア育成事業、交流事業、調査及び情報提供事業により、障がいのある人もない人も共に支えあいながら暮らせるよう障がい者への理解を求めた。

1 法人の運営

(1) 理事会の開催

ア 第1回（通常）理事会

期 日 令和6年5月19日（日）
場 所 千葉県社会福祉センター 3F 会議室
議 事 第1号議案 令和5年度事業報告（案）の承認について
第2号議案 令和5年度決算（案）の承認について
第3号議案 令和6年度定時評議員会の開催について

イ 第2回（通常）理事会

期 日 令和7年3月2日（日）
場 所 千葉県社会福祉センター3F 会議室
議 事 第1号議案 令和7年度事業計画(案)について
第2号議案 令和7年度予算(案)について
第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
第4号議案 令和7年度臨時評議員会の決議の省略による方法での開催の承認について

報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会の開催

ア 定時評議員会

期 日 令和6年6月16日（日）
議 事 第1号議案 令和5年度事業報告（案）の承認について
第2号議案 令和5年度決算（案）の承認について
第3号議案 役員を選任の承認について

報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

イ 臨時評議員会

期 日 書面表決にて開催

議 事 第1号議案 令和7年度事業計画（案）について

第2号議案 令和7年度予算（案）について

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の職務執行状況について

(3) 決算監査会の実施

期 日 令和6年4月21日（日）

場 所 千葉県社会福祉センター 4F相談室

監査人 監事 永長 徹 渡辺 絹代

協 会 挨拶：臼井 理事長 説明・質疑応答：横川事務局長 石井顧問税理士

2 自立活動支援事業

① 療育キャンプの実施

日頃、野外活動を楽しむ機会の少ない肢体不自由児者が家族と離れて宿泊し、室内でのレクリエーション、指導者によるボッチャ大会等の活動を通して自主性と社会性を高め、参加者同士の交流を深めた。

また、2日目は佐原周辺を散策し、買い物などを楽しんだ

期 日 令和6年8月31日(土)～9月1日(日)

宿泊地 「ホテルポートプラザ千葉」

参加者

1日目

障がい者 7名

ボランティア 12名

ボッチャ指導者 1名

職 員 2名

計 22名 (うち宿泊18名)

2日目

障がい者 10名

ボランティア 10名

保 護 者 4名

職 員 2名

計 26名

② 肢体不自由高校奨学金

県内に住む肢体不自由で高校在籍者2校4名に対し1人2万円の交付を行った。

交付者数 4名

- ・ 千葉県立松戸特別支援学校 2名
- ・ 千葉県立香取特別支援学校 2名

3 社会参加活動支援事業

親子の旅の実施

日頃、旅行する機会の少ない肢体不自由児者とその保護者を対象に日帰りのバス旅行を実施した。

期 日	令和6年10月6日(日)				
見学等	舞浜ヒルトンホテル	レストランフォレストガーデン	と	貨幣博物館	
参加者	障がい者	15名	付 添	13名	
	ボランティア	3名	職 員	2名	計 33名

4 療育相談事業

肢体不自由児の保護者、および 障がい者本人からの生活・就労・余暇活動等についての相談事業を行なった。

年間を通じて個別の面談相談 32 件、電話・メールにての相談 116 件。

5 訓練器具貸与事業

訓練機器の貸与

肢体不自由児が、障がいの程度に応じて家庭において訓練ができるよう、医師の判定を受けた新規申請者 24 名、前年度からの継続貸与者 55 名、計 79 名に訓練器具を貸与した。なお、電話による相談が 30 件あった。

年齢別貸出人数 (新規)

年齢別	人数
1～3 歳	12
4～6 歳	11
7～12 歳	1
13 歳以上	-
合計	24

種 類 別 貸 出 台 数

器具種別	台数	器具種別	台数
PC ウォーカー	26	クッションチェア	5
SRC ウォーカー	40	バンビーナ	1
UFO	1	オルソチェア	2
U 字型	1	フローシート	3
合計		79 台	

新規申請者主な通院医療関係機関

千葉リハビリテーション	16名
県立子ども病院	1名
東京女子医大八千代医療センター	1名
二和病院	2名
心身障害総合センター	1名
国際医療福祉大学成田	1名
その他	2名

新規申請者主な市町村

千葉市	6件
市川市	4件
船橋市	4件
成田市	1件
佐倉市	1件
市原市	2件
その他	6件

6 車椅子貸与事業

① 車椅子貸与

肢体不自由児の生活範囲を広げ、より活発に社会参加の機会を拡大するため申請のあった16名に車いす16台を貸与した。なお電話による相談が7件あった。

② 緊急車いす貸与

健常児者で急なケガや病気などで一時的に車いすが必要となった15名に対し車いすを3ヶ月を上限に貸与した。なお、利用者は市役所、市社会福祉協議会、病院からの紹介者が半数以上だった。保護者からの問い合わせが13件あった。

7 肢体不自由児に対する理解促進及び情報提供事業

① 絵はがき等頒布運動事業

「手足の不自由な子どもを育てる運動」期間を中心に、「愛と友情の絵はがき」（日肢協作成）、チーバくんクリアファイル（当協会作成）を活用して募金活動を行った。全県下の小中学校、盲聾特別支援学校の児童生徒・職員、官公庁・団体・企業等に広く働きかけ、肢体不自由児に対する理解と認識を深めた。又、今年度も群馬県・新潟県、各肢体不自由児協会とコラボし、各県のキャラクターファイルのセット配布も行った。

募金協力数（絵はがき・クリアファイル・シール）

令和7年3月31日現在

対象	① 絵はがき	② チーバくんファイル	③ 3枚セット	④ コラボセット
小中学校	3,496	9,110	7,436	0
一般	628	1,372	1,163	664
合計	4,124枚	10,482セット	8,599セット	664セット

② 手をつなぐ作品展

県内小中高等学校と特別支援学校、盲聾学校の児童生徒が、作品を通じて相互理解を深めることを目的として、作文を募集したところ、作文42点の応募があった。審査会を経て優秀作品を選考し、表彰式を行い賞状と記念品を贈呈した。又、作品集を県内全学校に配布した。

③ 広報活動

協会の機関紙として、「ともしび」を年2回（春号 冬号）発行し、関係機関等に配布することにより協会の事業内容をPRするとともに、肢体不自由児に対する理解を深めることに努めた。（各2,050部配布）

④ ホームページによる情報提供

協会の事業、催しの案内、募集、その報告、訓練器具などの在庫状況などいつでも必要な情報を更新した。

8 バリアフリー情報提供事業

県内の観光施設・公共施設・娯楽施設などのバリアフリー度を調査し、ホームページで紹介する。これにより、県民の方々にも障がい者への理解を深めてもらう。現在紹介店舗・施設数 126ヶ所

9 障害者就労意欲向上支援事業

ふれあいサロン（就労意欲向上支援事業）

年11回、第3日曜日の午前11:30～15:30に、特別支援学校高等部卒業生を中心に障がい者の就職や生活相談などに関する悩みを傾聴したり、就労意欲を高めてもらうため、アドバイザーが個別のカウセリングやグループディスカッションを行った。

参加者（延べ人数）障がい者 94名
アドバイザー 41名
ボランティア 43名

10 肢体不自由児に対するボランティアを育成する事業

県内の肢体不自由児者の社会参加と自立を支援するため、協会行事への参加や他の団体が主催する催しへの派遣を行った。

- ① ボランティアの育成と資質向上を目的に、車いす介助の研修を随時行った。
- ② 本会で実施する各種行事や関係施設行事にボランティア延べ72名が参加し、介助支援等を行った。
- ③ 「手足の不自由な子どもを育てる運動」のクリアファイルの梱包作業への協力を仰いだ。

令和6年度 ボランティアの会 登録者数			
社会人	男	6名	女 4名
学生	男	9名	女 4名
高校生		1名	
			合計 <u>24名</u>

※淑徳大学のボランティアサークル員の減少により学生の登録者数の減少はあったが活動への参加協力を得ることができた。

1 1 地域や関連団体への催し参加

- ① ガールスカウト千葉市協議会主催の親睦バザーに参加(5月)障がいを持つ5名もバザーへの出店を行い自ら作成した絵ハガキなどを販売し、働くことへの意欲を得た。
- ② 社会福祉法人愛光秋まつり(10月)に参加し、ゲームを行ったりバザーに出店し収益を得た。
- ③ 公益財団法人 千葉交響楽団経由で「京葉銀行小さな親切運動」より8月にコンサートに計13名が招待された。
- ④ XGAMES JAPAN 千葉後援会様のご好意により幕張メッセで行われた催しに8名が招待された。

1 2 その他

- ① 評議員立ち合いのもと理事長より高額寄付6団体に感謝状贈呈した。
- ② 関東周辺県の肢体不自由児協会のブロック会議が茨城県肢体不自由児協会で開催され、事務局長が出席して情報交換を行った。
- ③ 千葉県トラック協会より、車いすや自転車につけられるリアライトの寄贈があり行事参加者などへ配布した。
- ④ なの花交通バス株式会社よりBOXティッシュの寄贈があり、行事参加者などへ配布した。
- ⑤ 株式会社 世広 鈴木社長より毎日の気分を色で表す“こころの色ダイアリー”を寄贈いただき、ふれあいサロンの参加者に配布した。